

Real Contact in OKAYAMA

ダンス魂を撃て

■ヤニス・マンダフニス Ioannis Mandafounis

幼少より、両親の影響でバレエを習い、コンセルヴァトワール・ナショナル・スペリエール・ドゥ・ミュージク・ドゥ・ダンス・ドゥ・パリで学ぶ。

スウェーデンのヨーテボリ・バレエ団に2年在籍

2001年 NDT (ネザーランド・ダンスシアター) に2年間に在籍

2005年 フォーサイズ・カンパニーに入団

2010.2.28 (日)

岡山市立市民文化ホール

(岡山市中区小橋町1-1-30)

■開演16時(予定)

■チケット 前売5000円
当日5500円

「舞台」に何を観たいのか。
単に足がきれいに上がることなのか、ターンを何十回もぶれずに出来ることなのか、奇妙な動きなのか、トリッキーな動きなのか、豪華な衣装なのか、驚くような舞台装置や照明なのか。それとも、作品説明やライナーノーツが語る幻想を当てはめることなのか。

しかし、その何れにしてもその「舞台」にあるのは、それでしかない。

「舞台」に何を観たいのか。

それは、日常的な怠惰な身体ではない。どこにもある身体ではない。

非日常を観たいのだ。

昨日の話や明日の話で日常を消化する意識を観たいのではない。幼い意識で作られた、稚拙な世界を観たいのではない。子供のように、仲間内しか指示されないものを観たいのではない。私小説のような舞台を観たいのではない。

「舞台」に感動したいのだ。

「舞台」に喜びを観たいのだ。

弾けるエネルギーを観たいのだ。

溢れ出る情熱を観たいのだ。

本当の身体を観たいのだ。

そして、そこに「魂」を観たいのだ。

今回の作品は3本立てである。そこにある共通性は「関係性」である。意識という不可解な代物がより複雑にする日常。無意識の関係性。意識構造の中にある関係性。そして、ダンサー同士の関係性。舞台と観客との関係性である。しかし、それは難解なものではない。身体そのものがそれを表現する。それぞれの情熱と溢れるエネルギーだけでそれを表現する。人は本当の身体をその時目にするだろう。

誰が観ても「面白い！」を観せてやろう！！

by 日野 晃

◎「リアル・コンタクト東京」来たれ！生きが良くて情熱を持ったダンサー達！

8月24日(月)～28日(金)

身体塾11:30～14:00 即興塾15:00～17:30 表現塾18:30～21:00

BumB 東京スポーツ文化館 24日、25日柔道場・26日、27日、28日マルチスタジオ

◎出演者募集！

これらのWS等から、出演ダンサーを選びます。来たれ！生きが良くて情熱を持ったダンサー達！

<http://www.hino-budo.com>



■主催

BUDO ART COMPANY
<http://budo-art.net>

■共催

岡山市芸術祭実行委員会

■協力

日野武道研究所
<http://www.hino-budo.com>

■お問い合わせ先(担当: 日野晃)

info@budo-art.net

086-273-8285

090-6431-5974